



LRQA独立保証声明書

住友ゴム工業グループの2025年温室効果ガス排出量インベントリ、エネルギー消費量、廃棄物排出量、水使用量および排水量データに関する保証

この保証声明書は、契約に基づいて住友ゴム工業株式会社に対して作成されたものである。

保証業務の条件

LRQA リミテッド (LRQA) は、住友ゴム工業株式会社 (以下、組織という) からの委嘱に基づき、2025 年 (2025 年 1 月 1 日 - 2025 年 12 月 31 日) の温室効果ガス (以下、GHG という) 排出量インベントリ、エネルギー使用量、廃棄物排出量、水使用量、および排水量のデータ (以下、報告書という) に対して、検証人の専門的判断による重要性水準において、ISAE 3000 (改訂版) 及び温室効果ガス (GHG) については ISO14064-3:2019 を用いて、限定的レベルの独立保証業務を実施した。

LRQA の保証業務は、GHG 排出量とエネルギー消費量については組織及びその国内外連結対象子会社の計 84 社の、廃棄物排出量、水使用量および排水量のデータについては住友ゴム工業グループの日本国内外の製造拠点の事業活動、および以下の要求事項を対象とする。

- 選択されたデータが組織の定める報告方法に従っていることを確認すること。
- 下記の選択された指標のデータと情報の正確性および信頼性を評価すること。
 - スコープ 1 GHG 排出量、スコープ 2 GHG 排出量 (ロケーション基準、マーケット基準) 及びスコープ 3 GHG 排出量 (カテゴリ 1~15) ¹
 - エネルギー使用量 (単位: 原油換算千リットル)
 - 廃棄物排出量: 廃棄された量 (単位: トン)
 - 水使用量: 使用した体積 (単位: 千立方メートル) であり、水道水、地下水、河川・湖沼水及び工業用水を水源とする²もの
 - 排水量: 排出された体積 (単位: 千立方メートル)

保証業務の範囲は、報告書に言及されている組織のサプライヤー、業務委託先、その他第三者のデータおよび情報を除く。

LRQA の責任は、組織に対してのみ負うものとする。脚注で説明されている通り、LRQA は組織以外へのいかなる義務または責任を放棄する。組織は、報告書内の全てのデータおよび情報の収集、集計、分析および公表、および報告書の基となるシステムの効果的な内部統制の維持に対して責任を有するものとする。報告書は組織によって承認されており、その責任は組織にある。

LRQA の意見

LRQA の保証手続において、組織が全ての重要な点において、

- 上記の要求事項を満たしていない
- 別添の表 1 及び 2 に要約された GHG 排出量と主な環境データについて正確かつ信頼性のあるデータと情報を開示していない

ことを示す事実は認められなかった。

表明された意見は、限定的保証水準³及び検証人の専門的判断による重要性に基づいて形成された。

¹ GHG の定量化には固有の不確かさが前提となる。

² 雨水の利用は含まれていない。

³ 限定的保証業務の証拠収集は、合理的保証業務に比べて少ない範囲で行われ、各拠点を訪問して元データを確認するより集計されたデータに重点を置いている。従って、限定的保証業務で得られる保証水準は合理的保証業務が行われた場合に得られる保証に比べて実質的に低くなる。



LRQA の保証手続

LRQA の保証業務は、LRQA の検証手順に従って実施された。結論を得るために、保証業務は証拠収集の一環として次の事項を含んで実施された。

- 加古川工場への訪問審査とデータと記録の管理に係わるプロセスのレビューを実施した。
- データと記録の管理を担当する主要な要員へのインタビューを実施した。
- 報告書の重要な誤り、脱漏および記載の誤りを予防するように構築された組織のデータ管理システムを審査した。我々は、内部の品質管理を含めたデータ管理の手順、指針およびシステムの効果的な実施をレビューすることでこれを実施した。
- 集計された 2025 年実績データおよび記録の検証を実施した。

レポートには、オフセットに関連する会社の排出量 247,826 tCO₂e の排出からの控除分が含まれている。LRQA はこれらのオフセットクレジットが取得され、報告書に含めることが妥当であることを確認した。LRQA はこれらのオフセットの提供者に関していかなる手続きも行っておらず、またそれらが CO₂ 排出量の削減をもたらすかどうかに関して意見も表明していない。

観察事項

会社のデータマネジメントシステムを継続して維持し、温室効果ガス排出量の効率的かつ正確な集計及び算定を確実にすることを期待する。

LRQAの基準、力量及び独立性

LRQAは、少なくともISO 14065「温室効果ガス—認定又は他の承認形式で使用するための温室効果ガスに関する妥当性確認及び検証を行う機関に対する要求事項」およびISO/IEC17021-1「適合性評価—マネジメントシステムの審査及び認証を行う機関に対する要求事項 - 第1部：要求事項」の品質管理に関する国際規格の要求事項を満たし、また、国際会計士倫理基準理事会より発行されている職業会計士のための倫理規定に従った包括的なマネジメントシステムを運用し、維持している。

LRQAは、その資格、トレーニング及び経験に基づき、適切な資格を有する個人を選任することを保証する。全ての検証および認証審査の結果は上級管理者によって内部でレビューされ、適用された手続が正確であり、透明であることを保証する。

LRQAは組織に対して、ISO 9001、ISO 14001、ISO 45001およびIATF 16949の認証を実施している機関である。この認証および検証は、LRQAが組織に対して実施する唯一の業務であり、それ自体が我々の独立性あるいは中立性を損なうものではない。

署名

田上幸治

田上 幸治
LRQA 主任検証人
LRQA リミテッド

神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-1 クイーンズタワーA10F

LR reference: YKA4005028

日付: 2026 年 5 月 1 日

清水佐衣子

清水 佐衣子
LRQA テクニカルレビューアー

LRQA, its affiliates and subsidiaries, and their respective officers, employees or agents are, individually and collectively, referred to in this clause as 'LRQA'. LRQA assumes no responsibility and shall not be liable to any person for any loss, damage or expense caused by reliance on the information or advice in this document or howsoever provided, unless that person has signed a contract with the relevant LRQA entity for the provision of this information or advice and in that case any responsibility or liability is exclusively on the terms and conditions set out in that contract.

The English version of this Assurance Statement is the only valid version. LRQA assumes no responsibility for versions translated into other languages.

This Assurance Statement is only valid when published with the Report to which it refers. It may only be reproduced in its entirety.

Copyright © LRQA, 2026.

表 1. 住友ゴム工業グループの2025年のGHG排出量の要約

GHG 排出量のスコープ	トン CO ₂ e
スコープ 1 GHG 排出量	350,384
スコープ 2 GHG 排出量 (ロケーション基準)	578,963
スコープ 2 GHG 排出量 (マーケット基準)	304,167

GHG 排出量のスコープ	トン CO ₂ e	
	A ⁴	B ⁵
スコープ 3 GHG 排出量 ⁶		
カテゴリ 1	4,395,786	3,571,302
カテゴリ 2	200,297	200,297
カテゴリ 3	111,256	107,843
カテゴリ 4	279,804	279,804
カテゴリ 5	20,433	18,941
カテゴリ 6	4,897	4,897
カテゴリ 7	15,669	15,669
カテゴリ 9	32,559	32,559
カテゴリ 11 ⁷	26,929,010	26,929,010
カテゴリ 12	743,003	803,914
カテゴリ 13	997	997

表 2. 住友ゴム工業グループの2025年の主な環境データの要約

環境データ	数値
エネルギー使用量	434,651 原油換算キロリットル
廃棄物排出量	27,123 トン
水使用量	9,537 千 m ³
排水量	7,601 千 m ³

⁴ 排出係数IDEA ver2.3 に基づく値

⁵ 排出係数IDEA ver3.5.1 に基づく値

⁶ カテゴリ 8、10、14、15 は算定対象外

⁷ 全タイヤ販売本数のうちPC (乗用車)、LT (ライトトラック) 及びTB (トラック&バス) のタイヤを対象とする。(全タイヤ販売本数の92.5%を占める)